

沖縄の産業まつり出品

県内5酒造所

ハイビスカス活用

神村酒造、神谷酒造所、津嘉山酒造所、龍泉酒造、瑞泉酒造の県内5酒造所は、ハイビスカス酵母を用いた泡盛を12月中旬に同時発売する。同じ酵母を使用し度数や容量を統一しているが、各銘柄で風味は異なるという。発売に先立ち沖縄の産業まつりで購入希望者を受け付ける。

南国の恵み 詰め込んで

度数は20度と従来の泡盛より低く、容量も500ミリと少なめ。ハイビスカスをイメージしたグラデーションがあしらわれた瓶に各銘柄のラベルを貼り販売する。販売本数と価格は酒造所によって違い、価格は1200～1500円となる見込み。将来的にはセット販売も考案している。総代理店は酒類卸の喜屋武商店（那覇市）。

産業まつりでは、開発に協力したバイオジェット（うるま市）のブースで購入を受け付ける。同社の塚原正俊社長は「軽



い風味に仕上がっていて、普段泡盛を飲まない人や女性も気軽に飲める」と語った。